

令和3年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

第1学年1組

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○身近なことや経験したことをなどから話題を決め、話すことができる児童が多いが、話題を決められずに話すことが難しい児童も2～3名いる。全体的に声の大きさはやや小さい。</p> <p>○大事なことを聞き落とさないように集中して話を聞こうとする児童が多い。意欲はあるが、内容理解が十分でない児童も数名いる。</p> <p>○平仮名や片仮名などの文字や経験をしたことを基に文章を書くことに意欲的に取り組む姿が見られる。しかし、文字の習得が十分ではない児童や書きたい内容を選ぶことが難しい児童もいる。</p> <p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記や「は・へ・を」等の助詞の習得が十分ではない。</p> <p>○簡単な文を、スムーズに読む</p>	<p>○相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えて話すことができるようにする。</p> <p>○適切な声の大きさや速さなどに注意し、話し方を工夫できるようにする。</p> <p>○大事なことを聞き落とさないように集中して話を聞く力を育てる。</p> <p>○経験したことや想像したことをもとに、順序を整理し構成を考えて書く力、長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞を正しく使って書く力を育てる。</p> <p>○語のまとまりを意識しながら</p>	<p>○「始め—中—終わり」といった話の構成に関わる順序などを考えて話す機会を設ける。</p> <p>○話す相手に内容を正確に伝えるために、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことを指導する。</p> <p>○新しい言葉に着目することやいろいろな表現を使うことで、身近なことを表す語彙の量を増やす。</p> <p>○話し手が自分に知らせたいことは何か考えながら聞くことを伝える。話の内容に対して、自分の感想や意見を伝える経験を多く積ませる。</p> <p>○初めは3文程度の短い文を書かせる活動から、徐々に長い文章を書けるように段階を踏む。</p> <p>○書きたいことを口頭で話させてから文章にする支援を行う。</p> <p>○視写や聴写、正しく書き直すなどの活動を取り入れ、長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞を繰り返し指導する。</p> <p>○教師が範読をして、語のまと</p>		

	<p>ことができる児童が多いが、文のどの部分を読んでいるかを追うことができない児童、文字の読みに困難さが児童もいる。</p>	<p>明瞭な発音で文章を音読する力を育てる。</p>	<p>まり、言葉の響き、リズムに気を付けて音読できるように指導する。読み間違いは、その場で直すようにする。 ○宿題として、音読に取り組みせ、習慣付けさせる。</p>		
算数	<p>○数の表し方や、数の大小・順序についてはほとんどの児童が理解しているが、数名、理解が十分でない児童がいる。 ○数の合成や分解、「8は10より2小さいとみあたり、式で10-2と表すなど数を多面的にみることにについては、まだ定着していない。 ○10までのたし算・ひき算では、ほとんどの児童が計算することができる。しかし、まだ指や半具体物を使わないと計算できない児童もいる。 ○文章問題の意味の把握や、正しく立式することに課題が見られる。 ○ものの長さの比べ方では、紙テープなどを使った活動に意欲的に取り組むことができる。一方で、「どちらがどのくらい長いか」といった問いに対しては、理解が十分でない児童もいる。</p>	<p>○数の大小や順序を知り、次第に数の概念や表し方を理解できるようにしていく。 ○数についての多面的な見方ができるようにし、数についての感覚を豊かにする。 ○加法や減法を適用できる場面を知り、計算が確実にできるようにする。 ○数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり、読み取ったりすることができるようにする。 ○長さや広さ、かさなどの学習で、身の回りのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだせるようにする。</p>	<p>○具体物をまとめて数え、整理し表す活動を通して、2ずつ、5ずつ表すなど、数の多様な見方をさせる。 ○ブロックなどの半具体物を使った活動を取り入れたり、視覚的に理解ができる教材を活用したりすることで、数の構成についての理解を深める。 ○学習の中で、計算問題に取り組む機会を設定する。 ○ブロック操作や問題場面を図に表す活動を通して、イメージしやすいようにする。 ○体験を通して、身の回りにある量に関心をもって調べたり、比べ方を見いだそうとしたりする態度を養う。</p>		
生	<p>○ほとんどの児童が、通学路の</p>	<p>○集団や社会の一員として、自</p>	<p>○公共物や公共施設の利用につ</p>		

活	<p>歩き方や遊具の使い方等、安全に気を付けて利用することができるが、危険が予測できない児童もいる。</p> <p>○学校探検、朝顔の世話等の活動に意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○朝顔の観察では、成長の様子を絵と言葉で表現できる児童が多い。前回と違いなど、気づきまで表現できる児童はまだ少ない。</p>	<p>分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。</p> <p>○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶ等の活動の楽しさを味わうことや、そのための技能、能力を育てる。</p> <p>○観察の視点を理解し、多様なものの見方や捉え方を生かして表現する力を育てる。</p>	<p>いて事前に指導した後、実際に利用する中で、ものや施設、人とかかわりながら、正しい利用の仕方について指導する。</p> <p>○自然の事物や現象を利用した遊びや身近にある道具を使い、活動を工夫できる環境を整える。</p> <p>○観察の視点を明確に示す。</p> <p>○観察して分かったことを伝え合う場面を設定し、気づきの質が高まる板書の工夫をする。</p>		
音楽	<p>○多くの児童が、知っている歌だけではなく、初めて知る歌にも興味をもって聴いたり、歌ったりすることができる。</p> <p>○曲に合わせて自由に身体表現したりする活動にとっても意欲的な児童が多い。</p> <p>○簡単なリズム打ちやリズムづくりを楽しむことができる。一方で、リズムが不確かだったり、一定の速度が保てなかったりする児童も数名いる。</p>	<p>○楽しく音楽にかかわることを通して、一人一人が自ら歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする態度を育てる。</p> <p>○曲のリズムを感じ取り、自由に身体表現をする。</p> <p>○リズムに対する感覚を十分に身に付けるようにする。</p>	<p>○歌詞に合った絵や写真、視聴覚教材による音や映像を利用し、児童がイメージを自由に膨らませる環境を整える。</p> <p>○表現方法を広げるために手本となる動きを示したり、友達同士互いに動きを見合い、それぞれのよさに気付かせたりする。</p> <p>○教師による演奏、音源や映像等の視聴覚教材の利用、専門家による演奏などの範奏をよく聴き、繰り返し演奏する機会を設ける。</p>		
図工	<p>○好きなものや感じたこと、思ったことを作品に表現することができる児童が多い。一方で、自由な表現となると活動が思う</p>	<p>○感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すことができるようにする。</p>	<p>○作る前に発想を自由に発表させ、十分にイメージを膨らませる。手が止まってしまう児童には個別に声をかけ、表したい思</p>		

	<p>ようにすすまない児童や友達と似た作品になってしまう児童も見られる。</p> <p>○鑑賞の活動では、友達の作品のよさや工夫に気付き、言葉で伝えることができる児童が多い。</p> <p>○様々な素材や道具を使って、自分なりの作り方や表し方を試している。</p>	<p>○友達の作品について、発想やよさを認め合えるようにする。</p> <p>○鑑賞する活動を通して、児童の見方や感じ方を広げる。</p> <p>○用具の正しく安全な使い方を身に付けさせる。</p>	<p>いを引き出す。</p> <p>○発想のよさや工夫、頑張ったところを伝え合わせるために、鑑賞の時間を設定する。</p> <p>○技術面を伸ばすためにはさみ等の用具に十分に触れさせ、正しく安全な使い方を指導する。</p>		
<p>体 育</p>	<p>○きまりを守ってすすんで運動しようとする意欲が見られ、ほとんどの児童が集団行動をとれる。数名、個別での支援、補助を必要とする児童がいる。</p> <p>○幼稚園、保育園時代の経験、家庭での取り組みの差があり、短縄跳びでは技能面での差が大きい。</p>	<p>○友達と仲良く、協力して運動する態度を育てる。</p> <p>○楽しく体を動かしながら基本的な動きを身に付け、体力を養う。</p>	<p>○感染症対策を講じながらではあるが、きまりを守ること、友達と協力して運動を楽しむ活動を行う。</p> <p>○体育講師と連携し、個々の能力に応じた指導を可能な限り行う。</p> <p>○多種多様な運動を取り入れ、筋力・柔軟性・瞬発力・持久力等、様々な力をバランス良く身に付けられるようにする。</p>		